

**行田市公立学校適正規模・適正配置の基本方針及び再編成計画に
関する保護者・住民向け説明会（太田中学校区）会議録**

- 1 開催日時 令和元年5月14日（火） 午後7時～8時40分
- 2 開催場所 古代蓮会館工作室
- 3 出席者 保護者23人、その他住民25人 合計48人
- 4 教育委員会 鈴木教育長、門倉学校教育部長、江利川生涯学習部長
荻原学校教育部次長、諸貫教育総務課長、白井主幹、久積、嶋田、柏瀬
- 5 会議内容

| 発 言 者 | 会議の経過（議題・発言内容・結論等） |
|--------|--|
| 司会 | 1 開会 |
| 教育長 | 2 あいさつ |
| 司会 | 3 教育委員会事務局紹介 |
| 教育総務課長 | 4 計画に関する説明 |
| 参加者A | 5 意見等 ① 太田東小と太田西小が再編する中で、太田東小の児童が太田西小に通うという説明だったが、これは確定していることなのか。 ② 太田東小と太田西小の再編後、太田中との施設分離型の小中一貫校を設置するとのことだが、そのメリットを感じることができるのだろうか。 |
| 教育総務課長 | ① 太田西小と太田東小の再編は、4年間で取り組むという短期的な計画である。市としては、既存の施設は大切に使用していこうと考えている。そして、児童が収容できるかということもポイントとなる。太田東小に太田西小の児童が収容できるかということ、それは難しい。そういった面からも、皆様のご理解をいただきながら、太田東小の児童が太田西小に行くという再編となる。そうなった場合でも、クラス数が大幅に増えることはない。既存の校舎で、直すところは直しながら新たな学校を作っていこうというものである。主旨として、施設面として元々ある学校だが、新たな取り組みを進めていく学校として、それぞれの学校は一度閉校し、新たな学校として設立しようと考えている。 ② 小中一貫教育は、1箇所の学校でやっていくのが理想である。カリ |

| | |
|--------|--|
| | <p>キュラムを考えると、先生の指導方法などで小中一貫教育はメリットがある。国においても新たに義務教育学校を設置し、小学校で教科担任制を導入していくという検討を始めている。そういった意味で、小中一貫教育はこれから大きな流れになっていく。教育課程のメリットを、新しい再編後の学校の中で取り入れていこうと考えている。その先の長期的な部分については、子どもの数がどのように推移していくのか、例えば、子ども数が1箇所の学校で収容できる数になっているのかなどを考え、どのような運営が望ましいのか一緒に考えていきたい。</p> |
| 参加者 A | <p>③ 小中一貫校はとても良いことだと思う。小中一貫教育を進める上で、できれば同一の施設でやっていただきたい。</p> |
| 教育総務課長 | <p>③ 小中一貫の教育効果を最大限高めていくには、施設一体型というのをやっていきたいという思いはある。施設の整備面、4年間での小学校の再編成、中学校の教育課程の取り入れを行っていく中で、施設一体型の小中一貫校を実現していることは難しいが、継続して検討していく。</p> |
| 参加者 B | <p>小学校で教科担任制が導入されるとのことだが、現在の小学校の教諭が専門教科のみを教えるということなのか。それとも教諭の入れ替えがあるということなのか。</p> |
| 教育総務課長 | <p>教科担任というのは、小学校・中学校それぞれ免許によって異なる。中学教諭は専門科目の免許を持っている。これからは、教諭免許を取得する段階で、小学校・中学校の免許を取る、あるいは、小学校教諭が中学校教諭の免許を取ったり、逆に中学校教諭が小学校教諭の免許を取ったりすることも考えられる。基本的には、教科の免許を取っている中学教諭が、より深い学びのために小学校に来て教えるということを想定している。なお、義務教育学校では、基本的に小学校・中学校両方の教諭免許を持った方が望ましいとされている。徐々にそういった教諭が増えてくるのではないかとと思われる。</p> |
| 参加者 C | <p>行田市だけでなく、日本全国で少子化の問題に直面している。学校再編成の問題は、近隣の市町村でも抱えているのか。もし、あるのであれば、他の自治体の状況を教えていただきたい。</p> |

| | |
|--------|---|
| 教育総務課長 | <p>近隣の市町村で学校再編を実現しているところはない。検討段階では、鴻巣市で適正規模が確保できず、保護者と話し合いをしているとのことだ。県内だと春日部市が今年4月に小学校3校と中学校1校を再編し、義務教育学校を開校した。飯能市では、複数の小中学校を編成し、施設隣接型の小中一貫校を設置している。羽生市でもかなり前だが、中学校の再編成を行っている。子供たちのことを考えると、ある程度の人数的な中で学校生活を送ることができるという環境を整えていく必要がある。今後、他の市町村でも学校の再編成は行われると思う。</p> |
| 参加者D | <p>2年前に関根地区に引越しをしてきた。2年後に娘が太田東小に入学する予定だが、通学距離が2.5キロメートルであることと、少人数による友人関係や学習面で親として不安を抱いている。2023年度に再編成となるが、太田東小の児童の方が、ギャップが大きいと思う。そこで、新入生に関しては2023年度を待たずして、保護者が送迎をして太田西小に通うという学校選択制を取り入れていただけないか。</p> |
| 教育総務課長 | <p>現在のところは、4年後までに太田東小と太田西小の学校同士の再編成を考えている。学校選択制にした場合、太田西小を選択する家庭が多いと、太田東小が消滅してしまう可能性がある。あるいは、授業が成り立たなくなる可能性もある。複式学級になる前、ある程度の規模があるうちに学校を再編成した方が、それぞれの学校にとって望ましいのではないかと考える。今のところ太田東小では複式学級はなく、ある一定の集団の中で子供たちが学んでいると思う。4年後には複式学級になることが見込まれているので、地域の皆様のご理解をいただきながら再編成を進めていきたい。</p> |
| 参加者D | <p>内容は理解した。2023年度を待たずして、早めの再編成をお願いします。</p> |
| 教育総務課長 | <p>これから手続きを進める中で、教員の配置の問題もある。太田中学校区以外でも再編成を行っていくが、早くても3年という月日が必要であると考えている。地域の皆さんや保護者の皆さんと話し合いをしながら進めていきたいと思う。</p> |
| 参加者E | <p>2023年度までに太田東小と太田西小を再編するという計画は、賛成である。この計画について、新市長と共有しているのか。</p> |

| | |
|---------------|---|
| <p>学校教育部長</p> | <p>市長とは話し合いの場を持っている。市長からは学校の再編成について、積極的に行っていくようにと指示を受けている。特に北河原小の再編成については、平成20年度に再編成計画を作成した中で結果的に失敗に終わっている。そういった経緯もあるので、市長は一刻も早く再編成していくようにという考えを持っている。</p> |
| <p>参加者C</p> | <p>この計画と関係ないが、太田東小は校庭が広く、除草が大変である。そのため、学校応援団で除草剤を散布していた。しかし、除草剤をまくことを禁止されてしまった。なぜか。</p> |
| <p>教育総務課長</p> | <p>校庭は子供たちが使用するの、健康面を考慮するとなるべく除草剤を使用しないでほしいというのが教育委員会の考えである。しかしながら、除草は大変であることは理解している。設備面で草刈機の寄付をいただいているので、活用していただきたい。絶対に除草剤を使用してはいけないということではない。児童が立ち寄らない箇所であれば、使用していただいてもいいと思う。除草剤を使用したら、児童に近づかないような周知を教育委員会と学校で連携して行っていきたい。</p> |
| <p>参加者F</p> | <ol style="list-style-type: none"> ① 保護者の気持ちを考えながら、スピード感を持って学校再編を進めていただきたい。 ② 施設分離型の小中一貫校だと、それぞれの学校に校長がいることになるが、誰がリーダーシップを取って学校の活動を推進していくのか。 ③ 東部地域の小中一貫校の設置は2046年度ということだが、太田中学校は特に変化がないように思う。中学校に対してもさまざまな配慮をお願いする。 |
| <p>教育総務課長</p> | <ol style="list-style-type: none"> ① 市長からもスピード感を持って取り組むようにという指示が出ている。再編成を行うに当たり、緊張感とスピード感を持って、準備を着実に進めていく。 ② 施設分離型の小中一貫校は、それぞれの学校に校長がいるのは確かである。小中一貫のカリキュラム編成をどのように取り入れていくかなど、しっかりと考えていきたい。 ③ 東部地域の再編はかなり先だが、それまでに子どもの数を見ながら、施設の建替え年度を待たずに、計画で示した年度より前に実施する可能性もある。子供たちがどのような環境の中で学ぶか、保護者がどのような思いを持って子供たちを通わせるかを考えて再編を進め |

| | |
|---------------|--|
| <p>参加者 G</p> | <p>ていきたい。この取り組みは終わりが無いと思っている。短期間の計画を実行しても、その後のことも継続して考えていかなければならないと思っている。</p> <p>太田中学校区の小中一貫校は施設分離型だが、太田中学校で一体型の義務教育学校を作ることはできないか。太田中学校に太田東小と太田西小の児童が通い、9年間を過ごすという考えはないか。</p> |
| <p>教育総務課長</p> | <p>理想は、義務教育学校である。しかしながら、既存の施設を使用する中で、児童・生徒を収容できるかがポイントとなる。増築は不可能ではないが、小学校6学年分の児童を受け入れるために新たな校舎を設けると、校庭のスペースが確保できるか等を考慮する必要がある。また、子供たちの学習面、運動面を考えていくと、現時点では難しいのではないかと思う。太田中学校区の義務教育学校の設置についても、細かくシミュレーションをし、地域の方と話し合いをする中で、子供たちにとってどんな影響があるかを考えながら検討していきたい。</p> <p>6 閉会</p> |